



埼玉労働局発表
令和元年8月28日

【照会先】

埼玉労働局職業安定部職業安定課
職業安定課長 洪沢 修一
主任地方職業安定監察官 前澤 聖子
電話 048-600-6208(内線 320,313)

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善 の取組結果及び数値目標の公表について

全国の公共職業安定所（ハローワーク）においては、平成27年度から利用者である国民の皆様に対する業務の透明性を図り、利用者の信頼性の向上の観点から、ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組を行っております。

これに基づき、埼玉労働局（局長 木塚欽也）は、平成30年度に行ったマッチング機能に関する業務の取組結果及び平成31年度（令和元年度）の目標値について公表することとしました。

埼玉労働局では、平成31年度（令和元年度）も継続的な業務改善やサービスの向上に取組んで参ります。

1 平成30年度に行ったハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組結果

- ・平成30年度の取組結果は、「良好な成果」が8ハローワーク、「標準的な成果」が7ハローワークでした。
- ・各ハローワークでは重点的に取組んだ事項、また指標ごとの実績及び目標達成状況について「就職支援業務報告（平成30年度）」で分析を行っております。

2 平成31年度（令和元年度）の目標値の設定

- ・ハローワークごとのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組として、各指標の目標値を設定しております。

平成30年度 ハローワークマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組結果

○ ハローワークマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組を、ハローワークごとに評価指標を点数化の上、点数化された総点数を基に4類型(類型1:非常に良好な成果、類型2:良好な成果、類型3:標準的な成果、類型4:成果向上のため計画的な取組が必要)の相対評価を行ったところ、平成30年度の結果概要は以下のとおり。
※4類型の設定方法

- ・ グループごとに総点数の平均値を基準とし、平均値以上を類型1・2、平均値未満を類型3・4に区分する。
 - ・ 類型1・2のうち、全ての評価指標の目標達成率100%等を満点とみなし、満点以上を類型1、それ以外を類型2とする。
 - ・ 類型3・4のうちグループ平均値の80%未満(※)を類型4、それ以外を類型3とする。
- ※規模が大きい1Gは平均値の90%未満、2～5Gは平均値の85%未満と、基準を高く設定。

〔平成30年度各ハローワークの評価結果〕

ハローワーク	総合評価の評語
川口	標準的な成果
熊谷	標準的な成果
本庄	標準的な成果
大宮	良好な成果
川越	良好な成果
東松山	標準的な成果
浦和	良好な成果
所沢	良好な成果
飯能	良好な成果
秩父	標準的な成果
春日部	標準的な成果
行田	良好な成果
草加	良好な成果
朝霞	良好な成果
越谷	標準的な成果

	評 語	埼玉労働局の ハローワーク	全国の ハローワーク
類型1	非常に良好な成果	0	12
類型2	良好な成果	8	212
類型3	標準的な成果	7	213
類型4	成果向上のため計画的な 取組が必要	0	0
		15	437

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組 (ハローワーク総合評価)の概要

ハローワークのマッチング機能の強化を図るため、従来の目標管理・業務改善の拡充、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく全国的な業務改善(ハローワーク総合評価)の取組を、平成27年度から実施。

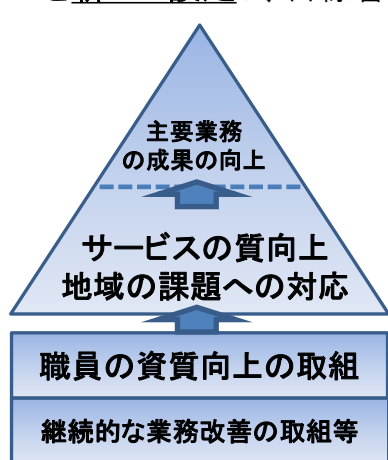
PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

・従来の取組(就職率等の**主要指標**に基づくPDCAサイクルによる目標管理)を拡充し、

①業務の質に関する**補助指標**

②ハローワークごとに、地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する**所重点的指標**

③ハローワークごとに、中長期的なマッチング機能強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進する評価項目である**所重点項目**を**新たに設定**し、目標管理を実施。



短期的な成果の向上だけでなく
中長期的な業務の質向上・業務改善
を図りマッチング機能を強化

ハローワークのマッチング機能 の総合評価・利用者への公表

・業務の成果について毎月公表

→各労働局が所管ハローワークの主要指標の実績を毎月公表

・年度終了後、業務の成果(主要指標・所重点指標)や質(補助指標)、職員の資質向上・業務改善の取組(所重点項目)の実施状況を踏まえ、ハローワークごとに総合評価を実施。

→労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークを11のグループに分け、同一グループ内で相対評価

・ハローワークごとに総合評価結果及び業務改善の取組等をまとめ、各労働局が公表。



重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表

・総合評価結果を、労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

評価結果等に基づく 全国的な業務改善

・ハローワークのマッチング機能の強化を図るため、評価結果をもとに、本省・労働局による個別のハローワークへの重点指導や好事例の全国展開を実施

①評価結果に基づき、本省から労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導

②一定の基準に該当するハローワークは改善計画を作成、本省・労働局が重点指導

③好事例は全国展開
労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催

ハローワーク総合評価の評価指標の構成

1 全ハローワーク共通の評価指標(主要指標・補助指標)

(1) 主要指標

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち、特に中核業務の成果を測定する評価指標

- 就職者数
- 求人充足数
- 雇用保険受給者の早期再就職件数

(2) 補助指標

ハローワークのマッチング機能に関する業務の質を測定する評価指標

- 求人・求職者に対する満足度
- 求人・求職者に対する紹介率

2 地域の雇用課題等に応じてハローワークごとに選択する評価指標(所重点指標・所重点項目)

(1) 所重点指標

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち、地域の雇用に関する課題等を踏まえ、ハローワークごとに重点として取り組む業務に関する評価指標

- 生活保護受給者等の就職件数
- 障害者の就職件数
- 学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数
- ハローワークの職業紹介により正社員に結びついたフリータ等の件数
- 公的職業訓練修了3ヶ月後の就職件数
- マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率
- 正社員求人数
- 正社員就職件数
- 介護・看護・保育分野の就職件数
- 建設分野の就職件数
- 生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数
- その他、安定所と労働局が調整し設定するマッチング業務指標

(2) 所重点項目

中長期的なマッチング機能向上のための、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組に関する評価指標

- 職員による事業所訪問の実施
- 職員による計画的なキャリアコンサルティング研修の受講
- 個別求職者担当制の実施
- 業務改善を図った取組の共有
- 他者と連携した広域労働移動の取組
- 地方公共団体との連携の推進
- 各種業務研修の実施

ハローワーク総合評価の評価方法

ハローワーク総合評価は、年度単位で実施し、

- ①労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークを11グループに分け、
- ②年度終了後に、ハローワークごとに評価指標の実績を点数化し、同一のグループ内で相対評価をおこなう。

① 評価指標(主要指標・補助指標・所重点指標)ごとに、年度当初に定めた目標への達成状況を基に、点数を付与する。

A指標の目標達成率



A指標のポイント化係数



〇〇ハローワークの
A指標のポイント

(例) A指標のポイント化係数が100点、目標達成率が105%をすると、 $100点 \times 105\% = 105点$ がA指標の点数となる。

② 評価指標(主要指標・補助指標・所重点指標)の目標達成率が100%以上の場合等に、点数を加点する。

(例) 上記①のA指標の目標達成率は105%なので、105点に加え、10点を加点。

③ 評価指数(所重点項目)の実施状況を基に、点数を付与する。

※中長期的な観点から必要となる職員の資質向上のための取組や継続的な業務改善の取組を実施した場合に、取組ごとに点数を付与。

④ ①～③点数を合計し、ハローワークごとに、総点数を計算する。

○ 11グループのうち同一グループ内で、ハローワークごとに、総点数を比較の上、4段階(「非常に良好な成果」、「良好な成果」、「標準的な成果」、「成果向上のため計画的な取組が必要」)の相対評価を行う。

ハローワーク川口 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、人材不足分野における人手不足感が深刻であることから、平成29年度に引き続き、介護・看護・保育分野の就職件数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとしました。具体的には、求人充足会議で積極的に介護・看護・保育分野を取り上げた他、合同面接会やツアー見学会を計15回開催（参加事業所数99社、参加求職者数452名、採用数63件）しました。その結果、年間目標の就職件数439件に対し、実績489件（達成率111%）と目標を大幅に上回りました。これらの開催イベントについては、単に面接会を行うだけでなく、埼玉県社会福祉協議会福祉人材センター等と連携した各種セミナーの開催や地方自治体と連携して求職者が集まりやすい日曜日の開催とするなど、来場者アップへの工夫を盛り込みました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、出先部門であるハローワークプラザ川口・ハローワーク川口駅前庁舎と本庁舎職業相談部門の職員双方の資質向上を図るため、交流研修を実施して、各々の庁舎、部門を経験することにより、各窓口業務への理解が深まり、その後の求人充足のきっかけとすることができました。

また、平成30年4月より障害者の法定雇用率が改正されたことにより、求人部門担当者に対し、改めて障害者向け求人に係る研修を実施した他、職業相談部門、求人部門職員並びに雇用保険部門を中心に、働き方改革を含めた需給調整事業に係る研修を実施して、法改正内容を確実に把握することにより、業務運営での資質向上につなげることができました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

新規求職者数が減少する中、人手不足が顕著になってきていることから、求人受付窓口において、年齢不問や経験不問についての条件緩和アドバイスを行うとともに、「初めての方にも丁寧に指導します」、「未経験者でも大いに活躍できる職場です」等のコメントを「仕事の内容」欄に具体的に表示し、求職者の応募機会拡大につながるよう求人内容の改善に努めました。

また、子育て世代の応募機会拡大のため、求人者に女性の雇用についての理解を求め、「急なお休みにも柔軟に対応します」等のコメントも表示することとしました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

ミニ面接会については、特に管内求人事業所を優先することなく開催してきたところですが、今後は、管内求人の充足数増加を図るため、人

材不足分野を含め管内求人事業所に対するミニ面接会開催を積極的に企画し、効果的なマッチング機会を図ることとします。

なお、保育や介護など福祉分野における合同面接会等については、各事業所や地方自治体から概ね好評であることから、今後も地方自治体と連携を密にし、継続的に実施して地域の人材確保に努めます。

（４）その他業務運営についての分析等

景気回復により雇用改善が確実に進んでいる一方、当地域の特徴として、賃金が比較的高い東京都と隣接していることから、充足数が目標達成率 92%となっています。今後は、より一層の良質求人の確保の他、管内求人の画像情報の充実、未充足求人へのミニ面接会等の提案の他、川口地区雇用対策協議会や地方自治体と一層連携し、管内事業所の人手不足解消に努めていきます。

２ 総合評価（※）

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

３ マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	障害者の 就職件数	学卒ジョブサ ポーターの支 援による正 社員就職 件数	マザーズ・ハロー ワーク事業にお ける担当者制 による就職支 援を受けた重 点支援対象 者の就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数	介護・看護・ 保育分野の 就職件数	生涯現役 支援窓口 での 65 歳 以上の 就職件数
実績	4,360	4,056	2,825	94.7%	95.7%	18.3%	14.4%	411	250	93.8%	19,355	2,048	489	229
目標	4,661	4,381	2,757	90.0%	90.0%	20.3%	15.9%	310	225	92.1%	18,903	2,322	439	199
目標達成率	93%	92%	102%			90%	90%	132%	111%	101%	102%	88%	111%	115%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク熊谷 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

求職者に対する情報提供や求人者・求職者が一堂に会せる場の設定が最重要と考え、若年者就職面接会（就職20件）、よりいジョブセンター就職面接会（就職17件）、県北（熊谷・本庄・行田）地域障害者就職面接会（就職18件）、ミニ面接会22回（就職28件）、介護職ツア一面接会3回（就職3件）を開催しました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

職員の資質向上を図るため、また、ハローワークの窓口において必要な各種労働法等の知識を習得するため、労働基準法・労働者派遣法・年金法等をそれぞれの機関から講師を招き職員研修を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

管内面積が広域であることから出先機関を活用した求職者へのサービス向上を図るため、求職者の自宅に近い相談窓口の周知、案内を積極的に行いました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

管内自治体や事業主団体が地域活性化のために、民間企業と結んだ地域連携協定等に基づいた高等学校での就職支援セミナーやシニアを対象とした仕事説明会に協力したところ、高い評価を受けていることから、引き続き地元密着のハローワークとして、今後も積極的に協力支援に取り組んでまいります。

（4）その他業務運営についての分析等

少子高齢化や若年者の都会への就職指向による県北地域の労働力確保の難しさなどがあるが、求職者の状況・ニーズの的確把握を行い、効率的マッチングに向けた職種別ミニ面接会等の開催に引き続き取り組んでまいります。

2 総合評価（※）

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 （受理地）	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 （求人者）	満足度 （求職者）	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	①生活保護 受給者等の 就職件数	②障害者の 就職件数	⑥マザーズ ハローワー ク事業にお ける担当者 制による就 職支援	⑦正社員求 人数	⑧正社員就 職件数
実績	3,390	3,077	1,243	86.4%	95.1%	22.2%	17.5%	199	228	92.3%	10,064	1,731
目標	3,545	3,275	1,450	90.0%	90.0%	23.7%	19.7%	164	245	92.1%	10,495	2,046
目標達成率	95%	93%	85%			93%	88%	121%	93%	100%	95%	84%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク本庄 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、主要指標の充足件数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、未紹介求人の情報提供や未紹介求職者への求人情報の提供などの取組を行いました。

未紹介求人の情報提供については、576件（平成29年度は528件）、未紹介求職者への求人情報の提供については240件（平成29年度は220件）となりました。引き続き応募に至らない状況を分析し、求人・求職の双方の条件を見直し、充足にむけ情報提供していきます。就職面接会は以前から年1回程度行っていましたが、今年度は若年者の正社員求人に限った面接会を本庄地区雇用対策協議会と共催で行いました。（参加企業12社のうち5社で採用） 参加人数は少なかったですが、良い方とじっくり相談が出来たと評価をいただいています。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、ハローワークの職業相談等においては、各種労働法の知識が必要になることから、労働基準行政と熊谷所等との共同研修を年1回実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

新規求職者が減少している中で、どのようにハローワークへ来所していただくかが、課題であると考え、平成30年10月に各市町村及び公共施設にハローワーク利用案内のリーフレットの配架依頼をし、求職者への働きかけの取組を実施しました。ハローワークを知っていただくため、リーフレットの見直し等を行い継続して実施していきます。

また、障害を持つ求職者の増加に伴い、担当者だけでは、登録時にお待たせしてしまうことが多くなってきたことから、紹介担当職員全員が、障害者登録が出来るよう研修をしました。初回登録時の聞き取り内容の統一を職員間で図りました。さらに全職員が精神発達障害しごとサポーター養成講座を受講し、障害者雇用の理解につなげました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

人手不足が言われ続ける中、効果的なマッチングを行うためには、求職票の詳細な記載や相談の充実が次につながると考え、基本に戻り職員研修等を実施し早期就職に向け取り組んでいきます。同時に応募書類の作成や面接の受け方等の支援も積極的に取り組めます。

また、ミニ面接会は15回開催しましたが、就職件数は6人と低調に終わったため、他のハローワークの取組なども参考に、より多くの求職者の皆様に参加していただけるよう改善を図ることとします。

(4) その他業務運営についての分析等

平成30年度の平均の有効求人倍率は1.55倍と高水準を維持しているものの、生産工程の職業については、2月は1.16倍でしたが、3月には中国との貿易摩擦などの関係もあり、0.86倍と大幅に減少しています。行先に不透明感はありますが、求人担当制を継続し、企業の動向に注意しながら、引き続き求人開拓に積極的に取り組みます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	学卒ジョブサポ ーターの支援に よる正社員就職 件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	1,677	1,503	536	96.2%	100.0%	15.2%	18.1%	171	127	4417	806
目標	1,641	1,475	563	90.0%	90.0%	16.9%	19.1%	122	97	4323	840
目標達成率	102%	101%	95%			89%	94%	140%	130%	102%	95%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク大宮 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、求職者数が減少しているなか、就職件数を最重要と考え目標を達成するために相談件数、紹介件数の増加に重点的に取り組みました。

職業紹介時においてプラス1サービス及び郵送等による情報提供を積極的に行い、紹介に繋げることにより適格紹介を推進するため目標の1.5倍の求人情報提供を行いました。また、求職受理後1か月以内にまだ紹介が行われていない求職者の方を選定し、職業相談、紹介に繋げるために求職者の希望条件に合った求人情報を積極的に提供しました。特に、認定日における相談等においては、初回認定日アンケート及び職業相談票を活用し出来る限り求人情報を提供し、応募意欲の促進を図りました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、全職員を対象とした各種研修（知っておくべき労働基準法研修、労働大学校の職業相談研修を受講した者による伝達研修等）を年間8研修、56回、延べ613人が受講した研修を行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

2週間前に紹介した未就職求職者には、求職者の希望条件に合った求人をマッチングのうえ求人票を事前に準備し、積極的に電話連絡をして来所に向けた働きかけのうえ紹介に繋げるため、具体的な目標数を定めたうえで管理簿を作成し進捗管理を徹底する取組を平成30年10月から開始しました。この結果663名が来所、紹介件数は545件、就職件数が97件と一定の効果がありました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

人手不足分野である、介護、建設、警備、運輸業においては求人倍率が高止まりと、人手不足が深刻化しています。特に建設、警備、運輸の求職者については中高年齢層が多いことから、将来的に深刻な担い手不足となることも予想され、今後も「人材確保・就職支援コーナー」を効果的に運営し、ゆとりある職業生活を希望する求職者が増えている状況などを求人者に伝え、求人受理時に労働時間や休日、賃金等の労働条件の緩和指導や面接会を含めたイベントの開催などにより、一層のマッチングを図り人手不足分野の人材確保対策を実施していきます。

（4）その他業務運営についての分析等

生活保護受給者等の就職件数は目標を達成しました。支援対象者数について、特に各区役所との連携を強化する必要があり、ケースワーカー

や査察指導員など、実務を担当する者と直接面談し、ハローワークと連携した支援について理解を進めていきます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

充足件数について、月数回行っていたミニ面接会を月1回に集約したテーマ別面接会に変更し一定の成果があったことから、今後も継続して実施していきます。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する紹介 率	求職者に対する紹介 率	生活保護 受給者等の就職件 数	障害者の 就職件数	学卒ジョ ブサポー ターの支 援による 正社員就 職件数	ハローワー クの職業紹 介により、正 社員に結び ついたフリー ター等の件 数	マザーズハ ローワーク 事業におけ る担当者制 による就職 支援を受け た重点支援 対象者の就 職率	正社員求 人数	正社員就 職件数	介護・看 護・保育 分野の就 職件数	生涯現役 支援窓口 での65 歳以上の 就職件数
実績	7,109	6,195	3,655	95.0%	97.0%	16.6%	17.1%	931	617	1,791	1,473	92.3%	34,758	3,268	728	221
目標	7161	6,318	3,462	90.0%	90.0%	17.2%	18.1%	892	583	1,710	1,358	92.1%	34,995	3,424	693	205
目標達成率	99%	98%	105%			96%	94%	104%	105%	104%	108%	100%	99%	95%	105%	107%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク川越 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所は、県西部地域の拠点としての機能発揮が重要となっています。この中で、自治体との連携に基づく個別支援による「生活保護受給者等の就職件数」及び人材不足分野の「介護・看護・保育分野の就職件数」が最重要と考え、特に重点的に取り組みました。

生活保護受給者等の就職支援については、生活保護受給の長期化や高齢化等が進み、就職への困難性が高くなる中で、各自治体と月1回以上の連絡会議や生活保護受給者等に対する綿密なケース会議を必要に応じ実施するとともに、児童扶養手当受給者の8月の現況届提出時においては、市役所内に臨時相談窓口を設置するなど積極的な支援を実施した結果、支援対象者数645人（目標564人）、就職件数439件（目標378件）、就職率68.1%（目標67.0%）の実績をあげることができました。

また、福祉分野の人材確保に向けては、ミニ面接会・ツアー面接会を計8回、セミナーを8回開催したものの、福祉分野の就職件数は642件（目標665件）にとどまり、目標を若干下回りました。

② 中長期的な職員の質向上に向けた取組

当所では、求人受理時や職業相談等において労働基準法や働き方改革に関する知識が必須であることから、労働基準監督署と連携し、業務を行う中で事業所や求職者から質問が多い事項や職員が疑問に思っている事項等の研修を実施しました。また、窓口サービス向上のために助成金関係業務研修や精神障害・発達障害に係る基礎的知識や正しい理解を得るための研修を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

若手職員で構成する「若者業務改善プロジェクト」会議を定期的開催し、若者の視点から現状を分析した上で課題を把握し、解決に向けた協議を行い、業務研修の充実や、点字封筒の作成、求人情報提供端末にイベントセミナー情報のボタンを追加するなど利用者サービス向上に向け改善を図りました。

また、待ち時間の解消や残業時間の縮減に向けての方策について協議を行い、受付時間のメモ実施や業務の見直し等を実施しました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

雇用情勢が改善する中で、建設、警備、運輸業においては求人倍率が高止まりし、人手不足が深刻化しています。また、現在の就業構造を見ると中高年齢層が多いことから、将来的に深刻な担い手不足に陥る可能性が高くなっています。このことから、令和元年度も引き続き平成30年度から設置した「人材確保・就職支援コーナー」を効果的に運営し、求人受理時に労働時間や賃金等の労働条件の緩和指導や面接会の開催な

どより一層のマッチングを図り、福祉分野とともに、建設、警備、運輸分野における人材確保対策を実施します。

（４）その他業務運営についての分析等

求職者担当者制については、支援対象者数（目標 50 人）及び就職件数（目標 14 件）はそれぞれ目標には達したものの、開始時期がかなり遅くなってしまったことから、令和元年度においては、繁忙期経過後速やかに開始し、時間的に余裕をもって取り組みます。

また、求職登録後の安定所利用が少ない求職者に対しての積極的な求人情報の提供等尚一層のハローワークの利用に向けた働きかけに努めることなど求職者一人ひとりに対するきめ細やかな支援サービスの充実や各支援窓口へのご案内等について更なる強化に努めることにより、就職件数の上積みを目指します。

さらに、雇用保険受給者の早期再就職件数については、2,427 件と目標（2,355 件）は達成したものの、給付制限期間中の計画相談については、325 件と目標（1,000 件）を大きく下回る結果となったことから、令和元年度においては、初回認定日全員相談の際に認定応当日の来所に向けた働きかけを確実に実施するとともに、来所の際は的確にニーズを把握し、必要に応じ早期就職支援コーナーへ誘導するなど早期再就職に資する職業相談に努めていきます。

2 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給 者早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	生活保護 受給者等 の就職件 数	障害者の 就職件数	学卒ジョブ サポーター の支援によ る正社員就 職件数	マザーズハ ローワーク 事業におけ る担当者制 による就職 支援を受け た重点支援 対象者の 就職率	正社員求 人数	正社員就 職件数	介護・看 護・保育分 野の就職 件数
実績	4,986	4,226	2,427	95.9%	94.7%	16.6%	17.3%	439	379	436	92.5%	18,190	2,423	642
目標	5,392	4,340	2,355	90.0%	90.0%	18.8%	19.0%	378	351	371	92.1%	16,735	2,674	665
目標達成率	92%	97%	103%			88%	91%	116%	107%	117%	100%	108%	90%	96%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク東松山 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では主要指標の充足件数を最重要と考え、特に重点的に進めることとし紹介担当職員による事業所見学を積極的に行いました。見学事業所数は33社で述べ84人の職員・相談員で実施し、求人内容の理解や多岐にわたる職種を現場で直接見たうえで、ミニ面接会等やプラスワン紹介の対象として求人充足に努めました。ミニ面接会等は目標の12回に対して24回実施、うち2回は管内全市町村と連携した参加事業所数30社程度の面接会を実施しました。求職者数が減少傾向にある中で面接会全体では、就職者数は52人と目標の20人を大幅に上回ることができました。

その結果、充足数は目標1,268件に対して、1,231件と僅かに及びませんでした。職員の専門性の向上や管内事業所との繋がりを持つことができました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の資質向上のため、職員に対し、労働基準監督署及び需給調整事業課職員による労働基準法、職業安定法に係る研修を実施し、受講した職員による伝達研修を未受講の職員に対して行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

新規求職者が減少傾向の中で、来所した方に対して積極的にハローワークの支援メニューを案内し窓口の利用に向けた働きかけを行うために、支援メニューリーフレットをよりわかりやすく簡潔なものにリニューアルしました。また、雇用保険受給者初回講習会では、ハローワークの支援メニュー案内に加え、面接対策や求職者の体験談等を盛り込む内容としたことで、受講者から好評を得ています。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

管内企業への若者の就職促進を図るために実施している比企地域の市町村で構成している比企元気アップ実行委員会と連携した合同就職面接会を比企地域に目を向けてもらう目的で川越市内の会場で実施しました。今後も管轄外の地域で行う面接会をより充実した内容とするために各市町村担当者との連携を密に行い実施方法や参加事業所の選定方法の検証及び参加者増加を図る取組を行います。

また、雇用保険受給者の認定日全員職業相談を今年度後半から開始しました。確実に実施できるように職業相談の実施方法や認定日等を工夫して職業紹介数を増やし就職数、充足数の増加に繋げる取組を行います。

（４）その他業務運営についての分析等

重点的に取り組んだ求人充足件数が平成３０年度は僅かに目標達成には至りませんでした。今後は、人手不足の状態が続いている管内の主要産業である自動車産業にかかる製造業を中心に、雇用対策協議会、市町村及び商工会と一層の連携を図り、面接会等を開催し、地場の中小企業にもたくさんの優良事業所があることを多くの求職者に知らせることにより、求人の充足を図る取組を行います。

また、求職者の減少傾向が続いている中で、職業相談、紹介数も減少しておりますが、雇用保険受給者の認定日相談を充実させることにより、就職者数・充足数を増やす取組を行っていきます。

２ 総合評価（※）

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

３ マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の就 職件数	正社員求人 数	正社員就職 件数
実績	1, 443	1, 231	686	88. 1%	100. 0%	20. 1%	14. 7%	183	131	4, 467	699
目標	1, 576	1, 268	744	90%	90%	21. 9%	16. 9%	80	143	4, 507	817
目標達成率	91%	97%	92%			91%	86%	228%	91%	99%	85%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク浦和 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所においては、平成29年度に引き続き、就職件数と充足件数の目標達成に重点を置いた取組を実施しました。求職者が減少する中、就職件数の増加を図るためには窓口利用の拡大と相談の充実が重要であることから、求人情報提供端末の利用の方や給付制限中の方等を積極的に窓口へ働きかけ、きめ細かな就職支援を実施しました。また、求人充足サービスとしては、人手不足分野を中心としたミニ面接会に積極的に取り組んだほか、労働力の担い手として期待されるシニアの皆様に向けたミニ面接会を初めて開催するなど、積極的なマッチング支援に努めました。

就職困難者に対する就職支援としては、支援機関との連携強化のもとでの障害者に対するチーム支援を実施したほか、管内全区（さいたま市）に設置するジョブスポット（一体的実施施設）において、地方公共団体との連携に基づく生活保護受給者等の自立支援を実施しました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

マッチング機能の向上に当たっては、職員個々の専門性の向上や意識の醸成が不可欠であることから、経験豊富な再任用職員を講師として「PDCAサイクルと目標管理」に関する研修を実施したほか、求人部門・職業相談部門の両統括職業指導官を講師として「職業紹介業務の基本」に関する研修を実施しました。また、職業紹介を行う上で必要な知識・情報の蓄積等を目的として、求人・求職両部門職員による事業所訪問に積極的に取り組み、求人票からではわかり得ない事業所情報の収集に努めました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

① 障害者法定雇用率の改正や外国人労働者の受入れ制度の拡大を踏まえ、大宮所との協働による初の取組となる以下の事業を実施しました。

- ・障害者法定雇用率未達成企業等を対象とする障害者雇用管理セミナー及び支援機関と事業主等の情報交換会
- ・外国人労働者の受入れを検討する企業等を対象とする外国人労働者雇用管理セミナー

② 労働力不足の解消を目的として、シニア世代を対象としたミニ面接会を3回開催しました。

③ 利用者アンケートにおいて、「庁内の案内表示がわかりづらい」とのご意見が散見されたため、案内表示の改善を図りました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

労働力不足の解消策として、人手不足分野における求人を中心にミニ面接会の開催を積極的に働きかけた結果、平成30年度当初に目標としていた年間11回を大きく上回る20回を開催することができましたが、就職については当初目標の11件に届きませんでした。ミニ面接会については、令和元年度においても求人充足サービスの中心的な取組として推進していきたいと考えているところですが、実施に当たっては、前年

度の実施状況を踏まえ、予め求職者の参加予定数や希望条件等を分析の上、実施計画を立てた上で開催することとし、また、開催後についても実施結果を検証の上、その後の取組に活かしていきたいと考えています。

(4) その他業務運営についての分析等

令和元年度は、前年度において就職件数・充足件数について目標を達成することができなかったことを踏まえた取組を進めます。地域柄、地元就職を希望する方や地元採用となる方が少ないこともあり、これまでは地域外への働きかけが十分ではなかったと考えています。今後、面接会等の取組に当たっては、大宮所及び各地区雇用対策協議会等にも協力、連携を求め、マッチングの向上を図ってまいりたいと考えています。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護 受給者等の就職件 数	障害者の 就職件数	学卒ジョ ブサポー ターの支 援による 正社員就 職件数	マザーズ ハローワ ーク事業 における 担当者制 による就 職支援を 受けた重 点支援対 象者の就 職率	正社員求 人数	正社員就 職件数	生涯現役 支援窓口 での 65 歳 以上の就 職件数
実績	3,930	4,285	2,234	81.8%	89.4%	17.1%	15.5%	709	465	470	95.2%	15,552	1,518	124
目標	4,191	4,346	2,053	90.0%	90.0%	18.5%	17.0%	743	433	380	92.1%	14,549	1,627	93
目標達成率	93%	98%	108%			92%	91%	95%	107%	123%	103%	106%	93%	133%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク所沢 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、最終的な成果である就職件数の目標達成を最重要と考え、昨年度に引き続き重点的に取り組みました。正社員や人手不足業種・職種等の求人を対象としたミニ面接会等を積極的に開催し、就職促進を図りました。

また、求職者の紹介窓口への誘導や就職の実現に向けた担当者制による就職支援及び求人の充足対策を強化するなど、マッチングを意識した能動的な職業紹介にも取り組みました。

所沢市（一体的実施事業）、狭山市と入間市（ふるさとハローワーク）の出先施設の利用促進や地域のニーズに応じた就職面接会の開催など地方自治体との連携を深め、所沢所全体のマッチング機能の充実強化にも努めました。特に、地方自治体と連携した就職面接会では、若年者対象や介護、製造業等の人手不足分野を中心としたもの等、計7回開催し、延べ507人の参加者があり、うち47人の就職が達成出来ました。

さらに9月から、大阪労働局で考案した求人情報作成のエクセルシートを活用し、最新の求人情報を所内の求職ニーズに合わせたセレクト求人情報として毎週公開するとともに、認定日にはランダム求人として、雇用保険受給者に配布しました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、職業相談業務の質を高める取組として、労働大学校又は埼玉労働局で行うキャリアコンサルティング研修への職員派遣や当所において、「働き方改革関連法に関する労働法令研修（講師：労働基準監督署職員）」、「労働者派遣法研修」及び「職業訓練の基礎知識」や新任紹介担当への「職業紹介業務『基本のき』研修」を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

効果的な就職面接会を実施するため、求人者に対して、年齢不問はもとより原則、経験を不問にさせていただくことなど、求職者の応募の機会を拡大する取組を行いました。また、人手不足分野を対象とした面接会には、ダイレクトメール等による求職者への参加に向けた働きかけなど周知を積極的に行ったほか、就職面接会で対象とする求職者を従来の若年者等に加え、新たにシニア層及び子育て中の求職者、又は介護系の職業訓練修了者を対象とした就職（ミニ）面接会を継続して開催しました。（年間11回）

ハード面では、エントランスの美化を実施し、ホワイトボードによるポスター掲示の整理、パンフレットケースの整理を実施しました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

介護事業者や製造業をはじめ多くの分野で人手不足が顕著になる中、人手不足分野の仕事を中心とした定期的なミニ面接会の開催や地域のニ

ーズに応じた就職面接会の開催など、平成30年度の実績を踏まえ、求職者への周知やマッチングに工夫を凝らしながら、地方自治体と連携した人材確保に取り組んでいきます。

また、9月から、導入した求人情報作成のエクセルシートを紹介窓口で共有化することにより、最新の求人情報をプラスワンの情報として毎週発行し、求職者ニーズに応じて提供していく取組を推進していきます。

ハローワーク庁舎も新築後、25年以上経過し、老朽化している箇所が目立ちますが、その環境等についても改善を進めていきます。特にポスター、案内表示等の掲示物については、利用しやすい窓口を目指して改善していきます。

当所の中堅職員で構成する「業務検討委員会」を開催し、ハローワークプラザの活用による、就職数等の上昇に向けた取り組みを検討していくこととしています。

(4) その他業務運営についての分析等

当所の平成30年度平均の有効求人倍率は1.86倍と対前年度比で同数値となり、高水準で推移していることから、人手不足が深刻化している分野は依然継続しています。求職者が減少している中、求人者に対して、一人でも多くの求職者とのマッチングを図り充足させることが急務となっていることから、平成30年度は就職面接会及びミニ面接会を22回開催しました。今後も、求人者への充足対策を図るとともに、高齢者の新規求職申し込みが増加傾向にあるため、シニア層を対象とした就職面接会の開催や「生涯現役支援窓口」による高齢者への就職支援等、引き続き、マッチングを意識した能動的な職業紹介の一層の強化を図り、管内企業への就職促進につなげていきます。

また、今年度中に実施されるハローワーク業務・システムの改修を見据えて、メリハリのある相談業務（真に支援が必要な利用者への重点的な支援や担当者制の誘導等。）を意識した業務運営を行っていきます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	障害者の就職 件数	学卒ジョブサポーターの支援による 正社員就職件数	マザーズハローワーク事業における 担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の 就職率	正社員求 人数	正社員就職件数	介護・看護・保育 分野の就職件数	生涯現役 支援窓口 での 65 歳以上の 就職件数
実績	4, 325	3, 904	2, 116	84. 3%	95. 0%	17. 1%	15. 3%	447	304	92. 6%	20, 398	2, 065	572	133
目標	4, 421	3, 919	2, 106	90. 0%	90. 0%	18. 9%	17. 1%	364	282	92. 1%	22, 329	2, 227	528	100
目標達成率	97%	99%	100%			90%	89%	122%	107%	100%	91%	92%	108%	133%

「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク飯能 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、主要指標の就職件数と充足件数の目標達成を最重要と考え、仕事を探している方と求人企業との面接機会の拡大に取り組みました。具体的には、求職者の方の担当者制及び求人の方の担当者制を実施し、求人・求職のマッチングによる職業紹介、また、求人条件の緩和や求人内容の見直しの提案を行うなど、求人者のフォローアップを行い職業紹介を実施しました。

さらに、ミニ面接会の開催による面接機会の拡大に取り組み本年度は24回開催し、延べ32社の企業に参加していただき、参加求職者95人のうち30人の就職に結びつきました。求人企業や求職者の方から再度の要望もあるなどの好評価をいただいています。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から若手職員を中心に職業紹介部門、求人部門の研修を実施しました。

また、ハローワークの職業相談等においては、各種労働法の知識が必要になることから労働基準監督署職員を講師に迎えた研修を、ハローワーク所沢と共催で実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人企業から「応募者の履歴書等がしっかり記入されていない」等の声がハローワークに寄せられていることから、多くの求職者の方にハローワークの相談窓口を利用して履歴書・職務経歴書の作成の仕方などの相談を積極的に行っていただくため、職員による相談窓口での声掛けや、自立式の案内表示を机上に設置するなどして、応募書類作成等の相談に取り組みました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

ミニ面接会を24回開催しましたが、うち18回が単独事業所の開催となりました。今後は、複数事業所の開催回数を増やすことで、さらに多くの求職者の皆様方に参加していただけるよう改善を図ることとします。

また、求職者の方が面接機会を得られるよう履歴書・職務経歴書の作成の仕方などの相談に積極的に取り組みます。

（4）その他業務運営についての分析等

着実に雇用改善が進んでいるものの、平成29年度における当所の有効求人倍率が低調であったことから、平成30年度は足を使った事業所訪問による求人開拓に積極的取り組みました。結果、平成31年3月の有効求人倍率は前年同月比0.11ポイント上昇し、0.89倍となってい

ます。今後も、求人開拓に積極的に取り組みます。

2 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

若者（新規学卒者を含む）の職場定着のための企業向けセミナーを開催し、9社の企業に参加いただきました。当日参加できなかった企業、10社からハローワーク職員の出張によるセミナーの依頼があり、出前で実施することにより定着支援を行い、企業からは高い評価をいただいています。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	学卒ジョブサポ ーターの支援に よる正社員就職 件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	1,455	1,119	670	78.6%	90.4%	22.2%	14.1%	105	275	3,329	700
目標	1,445	1,132	621	90.0%	90.0%	23.8%	14.2%	84	254	3,270	693
目標達成率	100%	98%	107%			93%	99%	125%	108%	101%	101%

「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク秩父 就職支援業務報告（平成 30 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、人口減少が著しく進行する中、地方自治体等との連携を強化し、それぞれが抱える課題の解消を念頭に置いた業務運営を展開しました。具体的には、当所が主催する就職面接会や自治体主催の移住相談会等のイベントにおいて相互にブースを設置し、来場者に対してそれぞれの業務に係るサービス提供を行ったほか、自治体が実施するシニア向けイベントでの高齢者向け求人情報の提供や福祉事業者との連携による「福祉ジョブセミナー」の実施等、新たな労働力の確保に向けた取組を積極的に実施しました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

ハローワークにおけるマッチング機能の強化に当たっては、職員個々の専門性の向上が不可欠との認識のもと、労働局からキャリアコンサルタント（国家資格）の有資格者を講師として招き、全職員を対象に職業相談技法等に係る研修を実施したほか、求人・求職両部門職員による事業所訪問に積極的に取り組み、求人票からはわかり得ない事業所情報の収集に努めるとともに、事業所担当者との信頼関係の構築に注力しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

上記のような取り組みを進める中で、新たな労働力の確保に当たっては、これまでハローワークを利用されていなかった方々へのアプローチが重要であることから、わかりやすく正確でかつ適切な情報発信を行っていくことを目的として所内に広報官を置き、ホームページの充実を図ったほか、マスコミ等の活用による積極的な情報提供を展開しました。また、ハローワークの役割がますます高まる中で、円滑な業務運営を図っていくには、ハローワークに対する利用者の安心感・信頼感の向上が重要であり、的確な現状把握と迅速な対応及び改善を繰り返し行っていくことが不可欠であることから、所内に業務改善プロジェクトチームを設置し、業務の簡素・合理化及びハローワークサービスの向上等に不断に取り組んできました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

人口減少等に伴う労働力不足の状況が継続すると予想される中で、外部からの人材の受け入れはもとより、地元における求職者への呼びかけが重要であると考えられることから、関係自治体と連携のもと、管外からの労働力確保に引き続き積極的に取り組むほか、高齢者及び子育て中の女性等の活用について、求人・求職両面への働きかけを実施したいと考えています。具体的には、移住促進フェアや就職面接会等のイベントにおける連携を継続して行っていくほか、秩父市との連携により運営する一体的実施施設のサービス内容を拡大し、高齢者や子育て中の女性、

あるいはU I J ターン希望者に対する職業相談・職業紹介を展開します。また、秩父市の業務との連携強化を図り、働き方に係る相談や子育てに関する情報提供等も行うこととしているほか、多様な働き方に関する企業への働きかけや、個別求人開拓等も実施していきます。

(4) その他業務運営についての分析等

高齢者や子育て中の女性の社会参加や、U I J ターンの促進に向けた取り組みを地域ぐるみで進める一方で、外国人労働者の受入れ拡大についても地域全体で考えていく必要があります。今後、関係自治体や事業主団体等とも連携し、制度の適切な運用に向けた取り組みについて検討していきます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の 就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	1, 555	1, 420	301	91. 5%	96. 2%	19. 7%	17. 5%	80	3, 624	698
目標	1, 548	1, 356	299	90. 0%	90. 0%	20. 8%	18. 7%	67	3, 556	685
目標達成率	100%	104%	100%	101%	106%	94%	93%	119%	101%	101%

「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク春日部 就職支援業務報告（平成 30 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 雇用保険受給者の相談窓口への誘導

昨年度から課題となっていた雇用保険受給者の相談窓口への誘導について、2 回目以降の認定日における誘導を重点的に取り組みました。結果、10 月から 3 月の新規求職者数は対前年度比で 0.17%減であった中、相談件数は 2.40%増加しました。

② 地方自治体との連携

自治体からの要望にも積極的に応え連携した事業を実施しました。白岡市とは就職面接会を開催し、企業に対する参加要請や求人開拓を合同で行い、参加事業所 33 社、求職者 56 人、就職 10 件の結果となりました。幸手市とは、市の事業の子育て中の母親を対象とした就職支援セミナーの実施に協力し 29 人の参加となりました。春日部市とは、市とセブンイレブンジャパンが開催した「お仕事説明会」に協力し、就職支援セミナーの実施と職業相談・紹介コーナーを設けて 22 人の参加となり、うち 2 名が採用となりました。久喜市からは、「精神・発達障害者しごとサポーター養成講座」の開催要望があり、市幹部職員を対象に 1 日に 3 コマで開催しました。いずれも自治体から良い評価をいただいております、各々の自治体との連携を深め、また、地域住民に対してハローワークを知ってもらうことに効果がありました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

庁舎狭隘のため、従来から発達障害者雇用トータルサポーターによるカウンセリングを相談窓口カウンターで実施していましたが、発達障害者という障害特性上、相談内容は多岐にわたる場合もあり、プライバシーの確保は、相談の質をあげるためにも課題でした。お客様からも一部意見をいただいていたこともあり、それまで作業スペースとして使用していた庁舎別棟の 2 階を相談スペースとして改修することとしました。これにより、求職者のプライバシーは守られ、より求職者に寄り添った業務が実施できるようになりました。

（3）今後のサービス改善・業務改善の取り組みについて

サービス改善、業務改善の見地から相談環境の改善は喫緊の課題です。庁舎別棟のみならず、本庁舎内にもプライバシーが守れる個室の相談スペースの確保が必要と考え、設置を計画しているところです。これにより満足いただけるサービス提供を目指します。

2 総合評価（※）

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 （受理地）	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 （求人者）	満足度 （求職者）	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の就 職件数	学卒ジョブサポ ーターの支援に よる正社員就職 件数	正社員求人 数	正社員就職 件数	生涯現役窓 口での 65 歳 以上の就職 件数
実績	3,941	2,944	1,948	74.7%	98.4%	22.1%	15.9%	402	245	12,385	1,915	148
目標	4,258	3,001	1,960	90.0%	90.0%	23.6%	17.4%	397	220	11,333	2,195	100
目標達成率	92%	98%	92%			93%	91%	101%	111%	109%	87%	148%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク行田 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数、充足件数及び雇用保険受給者早期再就職件数の主要指標の目標達成に重点的に取り組みました。

求職者が減少する中、総合受付における窓口の利用に向けた働きかけ、給付制限中の受給者に対する来所への働きかけ、認定日全員相談による職業相談窓口への誘導等に取り組み、相談、紹介件数の量的確保から就職件数等の目標達成に取り組みました。

職業相談窓口においては、求職者担当制による個別支援の確実な実施や求職者ニーズに応じたきめ細やかな相談による効果的なマッチング、各種就職支援セミナー受講への働きかけ、ミニ面接会の定期開催に取り組むとともに、求人受理窓口においては、正社員求人開拓による良質求人の確保や求人担当者制によるフォローアップを実施し、能動的な求人充足サービスに取り組みました。

また、生活保護受給者等の就職件数については、市福祉担当課と連携を図り、定期的な巡回相談を実施する他、担当者制によるきめ細やかな相談や就職準備、意識啓発等の就職支援セミナーを開催し、対象者の就職意欲の喚起に取り組みました。障害者の就職件数については、担当者制によるきめ細やかな相談や支援機関との連携によるチーム支援、就職面接会の開催等に取り組みました。

さらに、羽生市及び加須市と連携を図り、ふるさとハローワークの利用促進や就職面接会の開催、加須市地域雇用創造事業への協力に取り組みました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

若年求職者が減少する中、増加傾向で推移する高年齢求職者の就職促進を図るため、シニア世代対象就職面接会を事業所5社、求職者36名の参加を得て開催し、8名の就職実績と一定の成果を上げました。新規開催により、求人・求職者ニーズの高さの確認ができ、今後も定期的な開催や内容の充実、改善を図ることにより、一層の求人・求職サービスの強化が図られる取り組みとなりました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

進捗管理に基づく業務運営の結果、主要指標の3指標、補助指標の1指標、所重点指標の4指標について、目標を達成することができました。今後は、一層の取組内容の振り返り、検証を丁寧に行い、業務運営・改善を進め、地域に貢献できる取り組みに繋げていきます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の就 職件数	正社員求人 数	正社員就職 件数
実績	2,355	2,031	1,040	70.1%	94.9%	22.0%	17.6%	171	176	7,974	1,165
目標	2,343	1,989	902	90.0%	90.0%	23.8%	18.5%	164	172	7,421	1,159
目標達成率	100%	102%	115%			92%	95%	104%	102%	107%	100%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク草加 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、昨年度と同様に管内求人への効果的なマッチング支援を実施することが充足件数の目標達成に最重要と考え、特に重点的に進めることとし、求人事業所に対する「事業所PRシート」の作成推奨や「マンスリー面接会」での管内求人の充足支援などを実施してきました。

また、一般求職者や雇用保険受給者の早期再就職を支援するため、就職支援ナビゲーターによるセミナー（応募書類の作成・面接の準備等）を定期的で開催し、セミナー参加者を求職担当者制で積極的に支援するなど、求職者に対して信頼関係の構築を図りながら相談紹介等の各種支援を行いました。

特にマンスリー面接会は年11回開催し、参加人数231名（開催毎の平均の参加人数21名）、紹介件数253件、就職件数が32件と大きな効果があり、求人事業所からは「また参加したい。当社も新たに参加したい。」等々の好意的な意見を多く頂いております。今後も内容をブラッシュアップさせながら事業継続・拡充を図りたいと考えております。

さらに、昨年度から新たに各市のシルバー人材センターと連携して「シニア就労説明会」の取組を開始しました。この取組については、主に高年齢求職者給付金の受給者を対象に、失業認定日に合わせシルバー人材センターの入会説明会を実施し、シニア世代対象の就職面接会（企業面接会）を併せて実施（2回開催し参加者計45人）しました。シルバー人材センター担当者から「企画的にも良かった。効果的にセンターの周知ができた。定期的で開催して欲しい。」など好評を得ております。また、利用者からは「退職後に興味があったので良かった。説明を受けて登録を検討しようと思う。安定所とシルバーの連携に満足です。」等の意見を頂いております。こうした取組等が所重点指標ある「生涯現役窓口での65歳以上の就職件数」の目標93件に対して実績142件と目標を上回る結果となったと思料しています。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、「若手職員ミーティング」を立ち上げました。これは職業相談や雇用保険業務を担う若手職員の意見交換の場として自由闊達に意見を述べ合い、実務事例から学ぶ研修を中心に実施しました。しかしながら窓口業務との兼ね合いから十分な時間を確保できず、今後は定期的な実施に向けた工夫が必要であると考えております。

その他の業務研修としては、働き方改革の取組による各種労働法等の知識が必要になることから、監督署職員による労働時間等の基礎知識、年金事務所職員による年金等の研修などを実施してきました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

・マッチングサービスを強化する中で、マンスリー面接会等により採用された方のその後の定着状況等が不明であったことが多く、定着支援

等を含めた雇用管理サービスや新規求人開拓に繋がるよう求人事業所と目に見える関係の構築に努めてまいりました。

- ・求職者支援セミナーについては、参加した方のご意見等を踏まえ、常にブラッシュアップを図りながら内容の改善を行うとともに、実施回数を増やし、参加しやすい日程としました。平成 30 年度 11 回開催（平成 29 年度は開催なし）。

- ・ふるさとハローワークの所在地が分かりにくいとの声に対し、所内掲示板に立体的な地図と駐車場の写真を貼付するなど「見える化」を意識した改善を図ってまいりました。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

人手不足分野における求人充足対策については、マンスリー面接会の開催や草加地区雇用対策協議会や地元自治体等と共催による面接会を開催しましたが、当初の予定より参加者が少なく未充足であった求人も多かったことから、前年度の実施状況を踏まえ、他のハローワークの取組なども参考により多くの求職者の皆様に参加していただけるよう改善を図ることとします。

また、平成 31 年度からは、新たに人手不足分野を中心とした「お仕事説明会（仮）」の取組を開始する予定としております。この取組により、人手不足分野の仕事について理解が少しでも進み、同分野への新規就業効果を見込んでおります。

さらに、「生涯現役支援事業」に資するようシルバー人材センターとの連携については、参加された皆様から大変好評であったため、実施回数を増やします。

（４）その他業務運営についての分析等

当所の平成 30 年度の求人求職状況は、少子高齢化等の影響などにより慢性的な人手不足状況が続いており、特に介護・保育・運輸・建設などの分野で求人倍率が高い状況が続いています。また、当所は都内に隣接していることもあり、保育や介護系の加算額のある職種においては、都内での就職を希望する者も多い傾向にあり、地元求人の充足対策が喫緊の課題となっております。

今後は、地元求人の充足対策に重点に、マッチングの向上に努め業務運営を行っていきたいと考えております。

２ 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

◆ シルバー人材センターとの連携事業について

重点的に取り組んだ事項欄に記載しましたが、管内各市シルバー人材センターとの連携は他市町センターからの注目も高く、草加市シルバー人材センターの担当者からは「他のセンターにも働きかけをしていきたい」との意見を受けております。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者早期 再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に 対する 紹介率	求職者に 対する 紹介率	生活保護 受給者等の 就職件数	障害者の 就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数	生涯現役 支援窓口で の65歳以上 の就職件数
実績	3,093	2,993	1,792	73.3%	93.2%	21.1%	14.9%	418	291	13,660	1,584	142
目標	3,217	3,091	1,649	90.0%	90.0%	24.6%	16.5%	383	287	13,139	1,617	93
目標達成率	96%	96%	108%			85%	90%	109%	101%	103%	97%	152%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク朝霞 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

求職者減少の中、「雇用保険受給者の早期再就職件数」が特に重要であると考え、給付制限中の相談窓口への誘導及び就職支援セミナーを重点的に開催しました。就職支援セミナーは、平成30年度15回開催（のべ280人参加）し、座学だけでなくグループワークを取り入れたことで、求職者の孤独感を解消しモチベーションアップにつながりました。また、セミナー後に相談窓口へ誘導し、個別担当制の登録につながるなど、早期就職支援に取り組みました。

生活保護受給者等の就職支援では、一体的実施事業（志木市）での常設窓口による相談や福祉事務所への巡回相談等のほかセミナーを3回実施しました。各自治体と適宜連絡会議やケース会議を行い、就職件数272件（目標249件）で目標を達成しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

応募機会の拡大として、予約なしで参加できるミニ面接会の開催を増やすことにより業務改善を行ないました。具体的には、目標開催回数 年間12回のところ、年間65回開催し、156名が就職となりました。

ミニ面接会や初回講習を本所内だけでなく、和光市及び新座市の各ふるさとハローワーク内及び志木市のジョブスポットしき内で開催することで、出先機関の利用周知・広報も同時に行うことができ、利用者拡大につながりました。

志木市・朝霞地区雇用対策協議会と連携した「ジョブスポットしき シニア世代対象面接会」では、企業25社、求職者154名の参加で、31名の就職となりました。

管内企業への就職のため、朝霞地区雇用対策協議会と連携し、高校3年生対象の職場定着支援セミナー、各種面接会等を実施しました。特に、福祉分野では、朝霞市・新座市とも連携し、介護（1回）・保育（2回）の就職面接会を実施し、企業33社、求職者107名が参加し、13名が就職しました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

ハローワーク及び出先機関のサービスメニュー等の利用周知・広報を継続的に行うため、管内各市と連携を取り、新規求職者への働きかけを行っていきます。また、当所のホームページの見直しを図るとともに、イベント情報については、局ツイッターも活用し積極的に情報発信していきます。

全職員が利用者に対し、ハローワークのサービスを的確に案内・誘導できるようサービス内容を所内で情報共有します。また、総合評価（PDCA）について全職員に研修を行うとともに、進捗状況も適宜周知することにより、一人一人の業務が目標達成につながり、全員で朝霞所の

サービス向上を図っていくことを意識させ、職員のモチベーションの維持を図ります。

人手不足分野については、関係機関や各自治体とも連携し、適宜ミニ面接会やセミナー等を開催します。また、求人充足会議や求人担当制などを活用し、人手不足職種の充足を目指します。

（４）その他業務運営についての分析等

初回講習、各種セミナー、ミニ面接会を各自治体の会場にて実施することで、地域に根ざしたイベントの開催を行い一定の成果を得ることができましたが、そのためには各自治体との綿密な連携が不可欠であることから、今後においても月１回以上の訪問及び情報交換を実施します。

有効求人倍率について、当所は平成３１年３月末現在０．９８倍と低迷していることから、管内各市への広報依頼をはじめ積極的に求人開拓を行い、良質求人の確保や多様な勤務体系を含め正社員求人の確保に努めていきます。

相談や紹介の充実を進めるため、求人情報提供端末利用者や雇用保険受給者に対する来所に向けた働きかけにより相談窓口の利用増加を図るとともに、プラス１紹介や求職者担当制・求人充足会議等の基本業務の検証を行い、効果的な運用を目指します。

２ 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

３ マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の就 職件数	学卒ジョブサ ポーターの 支援による 正社員就職 件数	正社員求人 数	正社員就職 件数
実績	2,539	1,996	1,530	86.7%	92.8%	21.5%	13.9%	272	226	416	9,256	1,201
目標	2,572	2,053	1,408	90.0%	90.0%	25.9%	15.1%	249	221	303	7,661	1,193
目標達成率	98%	97%	108%			83%	92%	109%	102%	137%	120%	100%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク越谷 就職支援業務報告（平成 30 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、就職件数、充足件数、雇用保険受給者早期再就職件数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、認定日全員相談、給付制限中の認定応当日相談を行いました。

ミニ面接会は計 20 回（平成 29 年度は 15 回）開催し、面接人数が 228 人（平成 29 年度は 181 人）、うち就職者が 63 人（平成 29 年度は 47 人）と大きな効果があり、事業継続・拡充を計画しております。

また、管内の市と共催の面接会を 2 回（平成 29 年度は 1 回）開催し、面接人数 74 人（平成 29 年度は 31 人）、うち就職者が 13 人（平成 29 年度は 8 人）と効果がありました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、若手職員の職業紹介部門研修を行いました。

また、職業相談部門、求人部門においては、各種労働法の知識が必要になることから、労働基準行政との共同研修や労働局講師による労働者派遣法研修を行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

若年求職者が減少する中で、高年齢求職者の就職促進を図るため、シニアのミニ面接会を行い、20 人の参加で 8 人就職と成果がありました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求人充足を図るため、求人票記載内容の充実、求人票以上の情報を提供できるよう事業所情報の収集を行います。また、求人充足会議、求人担当者制等により求人充足サービスを向上させてまいります。

求職者が減少する中、高年齢者に対するミニ面接会や若年求職者に対する求職者担当者制による支援を行っていきます。

（4）その他業務運営についての分析等

求職者の減少傾向が続いていることから、ハローワークサービスについてより一層の外に向けた周知を行っていきます。

管内市町のイベント等にも積極的に参加し、ハローワークを知っていただいて来所いただけるよう周知を図ってまいります。

2 総合評価（※）

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 （受理地）	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度（求人 者）	満足度（求職 者）	求人に対する 紹介率	求職者に対す る紹介率	生活保護受給 者等の就職件 数	ハローワーク の職業紹介に より、正社員に 結びついたフ リーター等の 件数	マザーズハロ ーワーク事業 における担当 者制による就 職支援を受け た重点支援対 象者の就職率	正社員求人数	正社員就職件 数
実績	3,037	2,417	1,613	74.4%	88.9%	21.0%	14.9%	213	431	93.5%	10,955	1,482
目標	3,329	2,544	1,568	90.0%	90.0%	22.1%	16.6%	207	658	92.1%	10,347	1,635
目標達成率	91%	95%	102%			95%	89%	102%	65%	101%	105%	90%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

平成31年度ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善のための目標値

1、主要指標の目標値

所 別 項 目	労働局計	川口	熊谷	大宮	川越	浦和	所沢	秩父	春日部	行田	草加	朝霞	越谷
就職件数(常用)※1	47,063	4,185	4,911	6,755	6,281	3,775	5,461	1,453	3,859	2,189	2,888	2,339	2,967
	H30年度 目標値	51,300	4,661	5,186	7,161	6,968	4,191	5,866	1,548	4,258	2,343	2,572	3,329
	H30年度 実績値	49,195	4,360	5,067	7,109	6,429	3,930	5,780	1,555	3,941	2,355	2,539	3,037
充足件数(常用、 受理地ベース)※2	41,088	3,855	4,458	5,909	5,195	4,029	4,664	1,281	2,817	1,841	2,841	1,843	2,355
	H30年度 目標値	44,488	4,381	4,750	6,318	5,608	4,346	5,051	1,356	3,001	1,989	3,091	2,544
	H30年度 実績値	43,397	4,056	4,580	6,195	5,457	4,285	5,023	1,420	2,944	2,031	2,993	2,417
雇用保険受給者の 早期再就職件数※3	22,273	2,592	1,828	3,281	2,841	1,930	2,563	287	1,801	849	1,548	1,268	1,485
	H30年度 目標値	23,897	2,757	2,013	3,462	3,099	2,053	2,727	299	1,960	902	1,649	1,568
	H30年度 実績値	24,616	2,825	1,779	3,655	3,113	2,234	2,786	301	1,948	1,040	1,792	1,613

※ 1: 常用とは、雇用契約において雇用期間の定めがないか又は4ヵ月以上の雇用期間が定められているもの
※ 2: 埼玉県内のハローワークで受理した求人に対して、全国のハローワークからの職業紹介により就職が確認された件数
※ 3: 雇用保険の基本手当の支給残日数を所定給付日数の2/3以上残して早期に再就職する者の数

2、主要指標の目標達成に向けた主な取組内容

就職件数	【正社員就職】 正社員就職件数は、22,822件以上を目指す。 【求職者担当制の実施】 早期再就職を目指す求職者や就職に課題を抱えている求職者等を対象に、担当者制による就職支援を実施し、求職者の状況・ニーズを的確に把握し、きめ細やかな職業相談を行う。 【ミニ面接会の実施】 正社員求人や人手不足業種・職種等の求人を対象としたミニ面接会等を積極的に開催し、正社員や人手不足分野等の就職促進を図る。
充足件数	【正社員求人】 正社員求人件数は、195,690件以上を目指す。 【求人(事業所)担当者制の実施】 正社員求人や人手不足職種求人等の充足を図るため、求人または事業所への担当者制を設定し、能動的マッチングから充足に至るまでのフォローアップを行う。 【職員による計画的な事業所訪問】 職業相談部門及び求人部門職員が事業所訪問を実施し、業界動向、職務内容、関連職種等に関する情報の把握、相談窓口で提供できる求人票以上の情報収集や地元企業との信頼関係構築を図る。 【求人充足会議】 職業相談部門や求人部門の担当職員等で定期的に求人充足会議を開催し、求職者への求人情報提供や面接会を行う等の充足計画を立て求人充足サービスを行う。 【事業所画像情報の充実】 求職者が、事業所の雰囲気をもりイメージしやすくなるよう、事業所の外観や作業風景等の画像を収集する。 また、過去に収集した画像を最新のものに更新し、求人とともに閲覧できるようにすることにより、応募の促進を図る。
雇用保険受給者の 早期再就職件数	【雇用保険給付制限期間中の計画相談の実施】 早期再就職を促進するため、雇用保険受給者で給付制限期間がある求職者に対して、給付制限期間中の来所を勧奨し、職業相談を行う。 【担当者制による個別支援の実施】 早期の再就職を希望する雇用保険受給者等を対象に早期再就職支援プログラムや求職者担当者制へ誘導等を行い早期再就職を図る。 【雇用保険受給者を対象とした就職支援セミナー等の実施】 早期再就職への働きかけのため、就職支援セミナー等を開催する。労働局主催「就職を成功させるために」「自己分析とセールスポイントの見つけ方」「履歴書・職務経歴書の書き方」「面接対策・就職の心得」「中高年齢者の就職活動について」の他、各ハローワークでビデオセミナーや就職支援ナビゲーターを講師とする就職セミナー等を行う。

3、補助指標の目標値

所 別 項 目	労働局計	川口	熊谷	大宮	川越	浦和	所沢	秩父	春日部	行田	草加	朝霞	越谷
求人に対する紹介率※4	39.1%	39.0%	40.4%	35.4%	37.1%	35.7%	37.3%	43.7%	45.5%	46.1%	44.5%	45.2%	42.9%
求職者に対する紹介率※5	43.1%	39.3%	49.1%	42.1%	43.3%	41.7%	40.7%	51.2%	45.5%	46.4%	42.2%	39.0%	46.2%

※ 4: 新規求人のうち受理後翌々月末日までに1件以上の紹介を行った求人件数の割合
※ 5: 新規求職者のうち受理後翌々月末日までに1件以上の紹介を行った求職者数の割合

4、所重点指標の目標値

所 別 項 目	労働局計	川口	熊谷	大宮	川越	浦和	所沢	秩父	春日部	行田	草加	朝霞	越谷
生活保護受給者の 就職件数※6	4,844	537	300	994	506	809	442	－	256	172	344	220	216
障害者の就職件数※7	4,370	411	329	617	510	465	576	80	402	176	291	226	－
学卒ジョブサポーターの支援に よる正社員就職件数※8	5,957	237	472	1,935	828	473	592	－	237	－	－	355	－
ハローワークの職業紹介により 正規雇用についたフリー ター等の件数※9	7,953	－	－	1,358	－	－	－	－	－	－	－	－	－
公的職業訓練修了3か月後 の就職件数※10	3,274	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
マザーズハローワーク事業におけ る担当者による就職支援を受けた 重点支援対象者の就職率	92.7%	92.7%	92.7%	92.7%	92.7%	92.7%	92.7%						92.7%
正社員求人数※11	195,690	20,524	15,695	34,854	24,377	15,620	26,438	4,082	12,213	7,824	14,599	8,272	11,192
正社員就職件数※12	22,822	1,950	2,707	3,145	3,112	1,426	2,673	669	1,974	1,068	1,474	1,111	1,513
人材不足分野の 就職件数※13	10,100	－	－	1,369	1,370	－	－	－	－	－	－	－	－
生涯現役支援窓口での65歳 以上の就職件数 ※14	1,764	252	105	274	－	132	203		－	－	131	－	127

注：所重点指標は、年度ごとに、地域の雇用に関する課題等を踏まえ、各ハローワークが重点として取り組む業務の目標値を記載

なお、各ハローワークの規模により選択（3～9指標選択）

斜線箇所は対象窓口の設置なし

※ 6：ハローワークが自治体と協働して生活保護受給者等の方を就労支援し就職した件数

※ 7：ハローワークの職業紹介により障害のある方が就職した件数

※ 8：学卒ジョブサポーターの支援した方のうち正社員就職した件数

※ 9：ハローワークの職業紹介により正社員に結びついたフリーター等の件数

※10：公的職業訓練の修了3ヶ月後における雇用保険適用の就職件数

※11：ハローワークで受理した正社員求人数

※12：ハローワークの職業紹介により正社員に就職した件数

※13：ハローワークの職業紹介により福祉・介護・看護・建築・土木・警備・運転等の人手不足分野への職種に就職した件数

※14：生涯現役窓口での65歳以上の就職件数

5、所重点指標の目標達成に向けた主な取組

生活保護受給者等 の就職件数	【地方自治体との連携による就職支援】 生活保護受給者や生活困窮者等に対する就労による自立を促進するため、ハローワークと地方自治体が一体となり、ハローワークの常設窓口や定期的な地方自治体への巡回相談によるワンストップ型の就労支援を行う。
障害者の就職件数	【障害特性に応じた就労支援】 障害者就労支援ナビゲーター等の活用により、職業相談、職業訓練や職業紹介を行う。また、職場定着を含めた就職後の職場定着等の支援を実施する。 その他、関係機関と連携を図り、チーム支援による障害特性に応じたきめ細かな就労支援を行う。 【障害者面接会等の実施】 障害者の雇用促進を図るため、ブロック別の就職面接会や雇用率達成に向けた個々の企業ニーズに即した計画的なミニ面接会等を開催する。
学卒ジョブサポーターの 支援による正社員 就職件数	【職業意識形成・応募機会拡大等に資する事業の実施】 ①小・中・高校での職業講話や大学生へのセミナーを開催し、就職に対する意識形成を図る。 ②企業に対して学卒求人説明会やセミナーを開催し、正社員化促進を周知・啓発する。 ③情報交換会及び就職面接会等を開催し、正社員求人への応募機会を確保する。 【大学に対する出張相談等の支援】 大学等と連携する。特に就職支援協定を締結している大学等については学卒ジョブサポーターによる就職に向けた学生との個別支援を通じて就職実現を目指す。
ハローワークの職業紹介 により、正社員に結びつ いたフリーター等の件数	【担当者制による個別支援の実施】 フリーター等の正規雇用化推進のため、埼玉わかものハローワーク、わかもの支援コーナー及びわかもの支援窓口において「若者ステップアッププログラム」や担当者制による個別支援等を行う。
マザーズハローワーク事 業における担当者制によ る就職支援を受けた重点 支援対象者の就職率	【重点支援対象者向け就職セミナーの開催】 重点支援対象者に対し早期再就職を図るため、きめ細やかな職業相談を行うとともに、就職支援セミナー等を開催する。
人材不足分野の 就職件数	【人材不足分野の就職面接会の開催】 人手不足分野における求人充足の取り組みとして介護・看護・保育・建設・警備・運転等の合同就職面接会・ミニ面接会(管理選考)やツアー型面接会セミナー等を開催する。 【人材不足分野支援員による求職者担当者制の実施】 人材不足分野で働くことを希望する求職者に対し求職者担当制による個別支援を行う。
生涯現役支援窓口での65 歳以上の就職件数	【チームによる就労支援の実施】 65歳以上の高年齢求職者に対し、就労経験や就労ニーズを踏まえた職業生活の再設計に係る支援や就労チームによる個別支援を行う。